

- 問1 江戸時代中期、深刻な財政難に陥った幕府の立て直しを図るために老中として政治を行った人物は誰？
- 問2 江戸時代、新田開発の対象となり、農業生産を増やすために新たに作られた土地を何といますか？
- 問3 江戸時代、農具の改良や肥料の普及により高まった、単位面積あたりの収穫量を指す言葉を何という？
- 問4 江戸時代初期に、海外渡航を許可するために幕府が与えた公文書を何という？
- 問5 田沼意次が年貢以外の収入を増やすために奨励した、商人による営業の独占を認める組織を何という？
- 問6 儒教の一派であり、主従関係や上下の秩序を重んじる教えで、江戸幕府が政治や道徳の指針として奨励したものを何という？
- 問7 江戸幕府がキリスト教の禁止や貿易の制限を行い、長崎を中心とする外交体制を固めた政策を何という？
- 問8 徳川家康が政権を開き、後に全国支配の拠点となった場所はどこ？
- 問9 1792年にロシアの使節ラクスマンによって送り届けられた、ロシアへ漂流した日本人は誰？
- 問10 江戸幕府が、大名に対して江戸と領地を1年おきに往復させ、妻子を人質として住まわせるように義務づけた制度を何という？
- 問11 江戸時代、日本から銅などを輸出する唯一の貿易港として利用された場所はどこ？
- 問12 江戸時代に、庶民の暮らしや風景を題材にして描かれ、後に海外の印象派画家にも大きな影響を与えた絵画様式を何という？
- 問13 公事方御定書を制定した人物は誰？
- 問14 元禄文化期に活躍し、人形浄瑠璃の脚本で有名な人物は誰？
- 問15 江戸時代、幕府から知行地を与えられ、寛政の改革における借金帳消しの対象となった、将軍直属の家臣たちを何という？
- 問16 鎖国体制を維持するため、1825年に幕府が外国船を退去させるために出した命令を何という？
- 問17 江戸幕府の8代将軍で、享保の改革を行い財政再建を目指した人物は誰？
- 問18 飢饉などの際に、農村から都市への人口流出が増えると、幕府がその増加を恐れて制限した、農民による幕府や領主への直接的な抵抗運動を何という？
- 問19 江戸幕府が、外様大名を監視し重要な地域を支配するために、徳川氏の親族や古くからの家臣を配置した大名を何という？
- 問20 『東海道五十三次』などの優れた風景画を残した、江戸時代の浮世絵師は誰？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 田沼意次	田沼意次は10代將軍徳川家治のもとで老中として権力を握りました。彼は年貢以外の財源を確保するため、商人の結びつきである株仲間に営業を許可し、運上金や冥加金を徴収しました。また、長崎貿易を拡大して金銀の流出を抑え、輸出を促進するなど、積極的な商業重視政策を行いました。
問2	答え 耕作地	未開の荒地を開拓したり、干拓によって海や湖を埋め立てたりして農地を拡大しました。これにより多くの耕作地が確保され、年貢の対象となる土地が増えました。
問3	答え 農業生産性	農業生産性とは、農民が単位面積や一人当たりの労働力でどれだけの作物を生産できるかという効率の指標です。江戸時代には、千歯こきなどの農具や干鰯（ほしか）などの肥料が普及し、二毛作も一般化しました。その結果、限られた土地から多くの米や作物が収穫できるようになり、日本の人口は大きく増加しました。
問4	答え 朱印状	江戸幕府は特定の商人に「朱印状」を発行し、その船（朱印船）に東南アジア方面との交易を独占的に認めました。これにより、多くの商人が東南アジアの各地に日本町を形成しました。
問5	答え 株仲間	株仲間は、幕府から営業の独占権を認められる代わりに、営業税である運上金や冥加金を幕府に納める組織です。田沼意次はこれを公認し、流通を管理させることで幕府の収益を増やそうとしました。都市の商業活動を組織化し、経済的な活力を引き出す仕組みでした。
問6	答え 朱子学	朱子学は、君臣や親子の間にある厳しい上下関係を自然の理法とみなし、社会秩序を正すことを重視しました。幕府はこの思想を高く評価し、武士の教養や政治の基本理念として奨励しました。
問7	答え 鎖国政策	鎖国政策は、日本人の海外渡航の禁止、外国人の入国制限、貿易の管理を行うことで、幕府が対外関係を独占する体制です。長崎の出島を窓口としてオランダや中国などとの交流は続きましたが、それ以外は厳格に制限されました。
問8	答え 江戸	家康は、かつては寒村であった江戸を大規模な土木工事によって整え、城下町として整備しました。参勤交代の制度により、全国から大名や商人が集まる巨大都市へと成長させました。
問9	答え 大黒屋光太夫	大黒屋光太夫は伊勢の船乗りで、漂流の末にロシアへたどり着きました。ロシアで皇帝エカチェリーナ2世に謁見し、苦勞の末に帰国の許可を得て、使節ラクスマンに同行する形で1792年に根室へ帰還しました。その貴重な経験は、ロシアの状況を知る資料となりました。
問10	答え 参勤交代	江戸時代の幕府が大名に対して行った軍事・政治的な支配制度です。大名は一定の期間を江戸で過ごし、妻子を江戸に居住させることを義務づけられました。これには多額の費用がかかるため、各藩は経済的に疲弊し、幕府に反抗する余力がなくなりました。
問11	答え 長崎	長崎の出島にはオランダ商館が置かれ、中国（清）との貿易も行われました。銅は重要な輸出品であり、銀とともに日本が海外から金や絹などを輸入するための決済手段として重視されました。
問12	答え 浮世絵	浮世絵には、人気歌舞伎役者や有名な美人画、そして各地の風景画など、多彩な題材が描かれました。特に葛飾北斎や歌川広重の風景画は、優れた構図と色彩で知られています。これらの作品は、幕末から明治にかけて欧米に渡り、ゴッホなどの印象派の画家に大きな衝撃を与えました。
問13	答え 8代將軍	吉宗は、政治の安定のためには公平な裁判制度が必要だと考え、1742年に裁判の基準となる「公事方御定書」を制定しました。これにより、それまで曖昧だった処罰の基準が明文化されました。
問14	答え 近松門左衛門	近松門左衛門は、人形浄瑠璃の脚本を数多く執筆し、特に社会のルールと個人的な感情の狭間で苦しむ男女を描いた「心中物」で絶大な人気を誇りました。彼の書いた台本は人形浄瑠璃だけでなく、歌舞伎でも取り上げられ、日本演劇の黄金時代を築きました。
問15	答え 旗本	旗本は、將軍の直臣として江戸城に勤務し、行政や軍事の役職に就いていました。彼らの経済状況が極端に悪化したため、幕府は「棄捐令」を出し、商人からの借金を一部帳消しにする特例措置を行いました。
問16	答え 異国船打払令	幕府は防衛を強化し、近づいてくる外国船を無条件で攻撃して追い払う「異国船打払令（無二念打払令）」を1825年に発令しました。しかし、この強硬な姿勢はのちに海外から強い反発を招くこととなります。
問17	答え 徳川吉宗	8代將軍となった吉宗は、質素儉約を奨励し、年貢の徴収方法を工夫するなど「享保の改革」を主導しました。また、民衆の意見を直接聞くために「目安箱」を設置したり、江戸の町で火消制度を整えたりと、多くの施策を実施しました。
問18	答え 百姓一揆	「百姓一揆」とは、村の農民たちが協力して領主に対し、年貢の軽減や悪政の撤回を強く要求する運動です。当初は代表者が直訴する形が多かったのですが、次第に数千人単位の集団で暴動を起こすこともありました。
問19	答え 譜代大名	「譜代大名」とは、関ヶ原の戦い以前から徳川氏に仕えていた家臣たちのことで、主に江戸の近くや重要な交通の要所に配置されました。彼らは老中などの幕府の重要な役職に就き、幕政を動かす中枢の役割を担いました。
問20	答え 葛飾北斎	葛飾北斎が『富嶽三十六景』で富士山を題材にしたのに対し、歌川広重は『東海道五十三次』で、宿場町と旅人の情緒的な風景を繊細に描き出しました。彼らの作品は、ただの記録ではなく、芸術的な視点から風景を捉えたものとして評価されています。